

# 韓国ドラマ

を通して、  
**差別**について考える

～韓流20年 ブームを振り返りながら～

2024

11 / 15

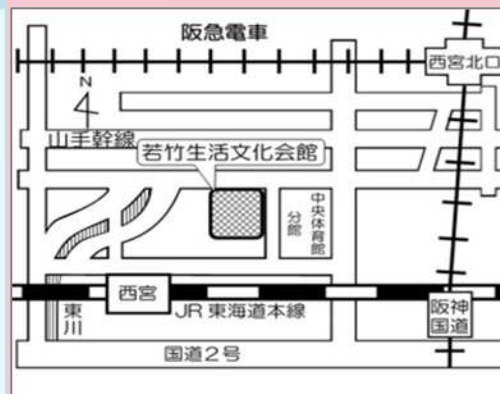
14:00～15:30(金)

参加費  
無料

定員  
30人(先着順)

場所  
若竹生活文化会館  
第2・3集会室  
(西宮市西福町15-12)  
※車でのご来場はお控えく  
ださい。

「韓流ブーム」は2004年、地上波で「冬のソナタ」が放映されたのをきっかけに始まったといわれています。あれから20年。韓流コンテンツは世界的な人気を博し、「韓国」はより身近な国となりました。でも、ドラマの中に出てくる「日本」の描き方に、あれ？と思うことはありませんか？日韓の理解は、本当に深まったと言えるのでしょうか？韓国ドラマは、歴史的な事件や社会問題を、真っ向から描きます。ときに目をそむけたくなるような差別的な表現を通して、何を訴えかけているのか。そこから何を学ぶのか、ともに考えます。



## 講師紹介

### 高吉美さん

在日コリアン3世。兵庫県隣保館連絡協議会事務局に勤務。兵庫県立高校「朝鮮語」非常勤講師、国際高麗学会会員。元・ひょうご部落解放・人権研究所事務局長

## 申込

9/30(月)9:00～10/31(木)

二次元コード

または

若竹生活文化会館窓口  
電話(0798-67-7171)



主催:若竹生活文化会館 共催:若竹公民館地域学習推進員会